

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 八千代工業株式会社
 コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 加藤 正彰
 (氏名) 北村 哲也

TEL 04-2955-1211

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	195,049	△20.0	375	△93.8	138	△97.6	△4,269	—
21年3月期第3四半期	243,959	—	6,089	—	5,761	—	855	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△177.79	—
21年3月期第3四半期	35.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	122,043	37,205	26.9	1,368.17
21年3月期	120,054	41,210	30.9	1,545.33

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 32,854百万円 21年3月期 37,109百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年3月期	—	9.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	△12.7	2,400	△60.3	2,000	△64.4	△3,400	—	△141.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「4.その他」をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	24,042,700株	21年3月期	24,042,700株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	28,934株	21年3月期	28,934株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	24,013,766株	21年3月期第3四半期	24,013,753株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。
なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の経済状況は、国内においては、失業率が高水準にあるなど、景気は依然として厳しい状況にあるものの、個人消費を中心に、持ち直しの動きがみられるようになりました。一方、海外においては、米国の景気は引き続き深刻な状況にあり、信用収縮の継続や雇用の悪化などによる低迷が懸念されるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられるようになりました。アジア諸国の景気は、中国やインドでは回復しており、その他の国においても総じて景気は回復しつつあります。また、欧州主要国の景気は引き続き深刻な状況にあり、信用収縮や自動車買換え支援策の反動、雇用の悪化などによる低迷が懸念されるものの、下げ止まりがみられるようになり、緩やかな持ち直しが見込まれるようになりました。

このような情勢のもと、当社グループは、お客様のニーズに迅速かつ的確に応えるため、研究開発及び生産体制の強化など企業体制の強化に努めてまいりました。研究開発面では、製品の軽量化やコストダウンなど引き続き積極的な研究開発活動を展開し、生産面では、国内外の生産体制改革をさらに推進するとともに、需要の減少による減産下においても生産効率を落とすことのないボトム体制の構築に取り組み、各地域の需要に応じた生産の最適化を図ってまいりました。また、品質面では、引き続き桁違い品質の実現に向けて取り組んでまいりました。

当第3四半期連結会計期間の売上高は、自動車部品分野及び自動車組立分野における大幅な受注の減少などにより、726億5千1百万円と前年同期に比べ191億4千7百万円、20.9%の減収となりました。利益につきましては、自動車部品分野及び自動車組立分野の減収に伴う利益の減少及び減価償却費の増加などにより、原価改善効果並びに販売費及び一般管理費の減少などはあったものの、経常利益は、12億7千6百万円と前年同期に比べ13億1千7百万円、50.8%の減益となりました。四半期純利益は、8億9千1百万円と、減損処理による持分法適用関連会社の投資有価証券評価損7千万円及び持分法適用関連会社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額23億9千8百万円を特別損失に計上した前年同期の四半期純損失11億1千万円に比べ20億2百万円の増益となりました。

分野別売上高の状況

(自動車部品分野)

自動車部品分野では、国内においては、部品全般における大幅な受注の減少などにより、売上高は、167億4千3百万円と前年同期に比べ86億1千9百万円、34.0%の減収となりました。北米においては、連結子会社であるエーワイマニュファクチュアリングリミテッド(米国)、ユーエスヤチヨインコーポレーテッド(米国)、ヤチヨマニュファクチュアリングオブアラバマエルエルシー(米国)及びヤチヨオブオンタリオマニュファクチュアリングインコーポレーテッド(カナダ)における大幅な受注の減少や為替換算上の減少などにより、売上高は、75億9千7百万円と前年同期に比べ42億2千9百万円、35.8%の減収となりました。アジアにおいては、連結子会社であるサイアムヤチヨカンパニーリミテッド(タイ)における受注の減少や為替換算上の減少などにより、八千代工業(中山)有限公司(中国)及びゴウシタンロンオートパーツカンパニーリミテッド(ベトナム)における受注の増加や平成20年12月より操業を開始したゴウシインディアオートパーツプライベートリミテッド(インド)の売上増加などはあったものの、売上高は、121億4千8百万円と前年同期に比べ8億6千3百万円、6.6%の減収となりました。

この結果、自動車部品分野の売上高合計は、364億8千9百万円と前年同期に比べ137億1千3百万円、27.3%の減収となりました。

(自動車組立分野)

自動車組立分野では、前年同期は、新型「ライフ」の投入効果などにより、大きく売上増加につながりましたが、当第3四半期連結会計期間においては、その効果が薄れたことなどから、受注台数が大幅に減少したことにより、平成21年5月よりエンジン組立工場の稼働に伴うエンジン及びトランスミッションの売上が計上されたことによる売上増加はあったものの、売上高は、361億2千万円と前年同期に比べ54億2千1百万円、13.1%の減収となりました。

(その他の分野)

その他の分野の売上高は、4千万円と前年同期に比べ1千2百万円、24.0%の減収となりました。

なお、平成22年3月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年3月期第1四半期決算短信(平成21年7月28日開示)及び第2四半期決算短信(平成21年10月27日開示)をご参照ください。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、1,220億4千3百万円と前年度に比べ19億8千9百万円の増加となりました。

増加した要因は、繰延税金資産の取崩しによる投資その他の資産の減少などがあったものの、受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、848億3千8百万円と前年度に比べ59億9千4百万円の増加となりました。

増加した要因は、長期借入金、賞与引当金の減少などがあったものの、支払手形及び買掛金や短期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、372億5百万円と前年度に比べ40億4百万円の減少となりました。

減少した要因は、利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、賞与の支払いによる賞与引当金の減少額11億6千3百万円、有形固定資産の取得による支出26億2百万円などの資金需要及び長期借入金の純減額8億8千4百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益11億8千4百万円、減価償却費32億4千5百万円などにより、当第3四半期連結会計期間末における資金残高は38億8千6百万円となり、第2四半期連結会計期間末と比べ4億8千5百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、賞与の支払いによる賞与引当金の減少額11億6千3百万円、売上債権の増加額41億1千4百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益11億8千4百万円、減価償却費32億4千5百万円、仕入債務の増加額44億4千2百万円などにより、前年同期に比べ1億1千9百万円増加し、42億4千8百万円（前年同期は41億2千9百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより、前年同期に比べ46億6千3百万円減少し、29億2千3百万円（前年同期は75億8千7百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、短期借入金の純増額4億1千4百万円などがあったものの、長期借入金の純減額8億8千4百万円などにより、前年同期に比べ58億7千4百万円増加し、7億9百万円（前年同期は51億6千5百万円の収入）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年10月27日の決算発表時に公表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社のほかに、ヤチヨ ド ブラジル インダストリア エ コメルシオ デ ペサス リミターダを、平成21年9月に設立したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

また、ワイ エム テクノロジー インコーポレーテッドは、平成21年12月31日に解散し、清算中でありませ

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,751,851	4,873,951
受取手形及び売掛金	33,821,835	27,221,179
商品及び製品	1,061,428	828,237
仕掛品	1,643,622	1,632,622
原材料及び貯蔵品	4,185,572	4,173,180
その他	2,490,587	4,232,776
流動資産合計	47,954,897	42,961,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,155,230	40,883,260
機械装置及び運搬具	82,021,207	79,657,765
工具、器具及び備品	41,651,933	38,837,461
土地	16,455,124	15,660,695
建設仮勘定	3,453,330	3,833,508
減価償却累計額	△116,498,828	△108,404,801
有形固定資産合計	69,237,998	70,467,888
無形固定資産		
のれん	1,219,592	1,434,814
その他	402,494	413,144
無形固定資産合計	1,622,086	1,847,958
投資その他の資産	3,228,907	4,776,517
固定資産合計	74,088,992	77,092,364
資産合計	122,043,889	120,054,313

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成21年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,526,908	23,612,466
短期借入金	25,016,762	19,768,580
1年内返済予定の長期借入金	5,793,333	5,610,137
賞与引当金	889,344	2,015,894
その他	7,089,241	8,180,664
流動負債合計	68,315,590	59,187,743
固定負債		
長期借入金	10,829,698	14,610,355
退職給付引当金	4,533,641	3,983,722
その他	1,159,156	1,061,713
固定負債合計	16,522,496	19,655,790
負債合計	84,838,087	78,843,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,685,600	3,685,600
資本剰余金	3,504,076	3,504,076
利益剰余金	31,120,793	35,966,533
自己株式	△24,648	△24,648
株主資本合計	38,285,822	43,131,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	166,649	129,198
為替換算調整勘定	△5,597,513	△6,151,641
評価・換算差額等合計	△5,430,864	△6,022,443
少数株主持分	4,350,844	4,101,659
純資産合計	37,205,802	41,210,778
負債純資産合計	122,043,889	120,054,313

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	243,959,823	195,049,644
売上原価	228,682,842	186,749,223
売上総利益	15,276,980	8,300,421
販売費及び一般管理費	9,187,955	7,924,878
営業利益	6,089,024	375,542
営業外収益		
受取利息	106,676	65,360
固定資産賃貸料	—	69,462
持分法による投資利益	108,513	—
その他	132,889	174,915
営業外収益合計	348,079	309,738
営業外費用		
支払利息	510,926	457,425
為替差損	132,269	—
その他	32,736	89,067
営業外費用合計	675,932	546,493
経常利益	5,761,171	138,788
特別利益		
固定資産売却益	15,838	11,461
その他	—	840
特別利益合計	15,838	12,301
特別損失		
固定資産売却損	—	61,571
固定資産除却損	—	132,471
貸倒引当金繰入額	2,398,477	—
投資有価証券評価損	70,027	—
減損損失	—	48,675
特別退職金	—	259,179
その他	395,618	22,320
特別損失合計	2,864,123	524,218
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,912,887	△373,128
法人税等	1,580,865	3,660,225
少数株主利益	476,573	236,055
四半期純利益又は四半期純損失(△)	855,448	△4,269,409

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	91,798,631	72,651,279
売上原価	86,156,757	68,622,761
売上総利益	5,641,873	4,028,518
販売費及び一般管理費	3,051,602	2,650,152
営業利益	2,590,271	1,378,366
営業外収益		
受取利息	43,700	43,602
受取配当金	—	39,763
為替差益	109,293	—
その他	40,225	47,967
営業外収益合計	193,219	131,333
営業外費用		
支払利息	178,707	167,043
その他	10,068	65,808
営業外費用合計	188,776	232,851
経常利益	2,594,714	1,276,847
特別利益		
固定資産売却益	6,491	4,278
特別利益合計	6,491	4,278
特別損失		
固定資産売却損	—	2,332
固定資産除却損	—	65,788
貸倒引当金繰入額	2,398,352	—
投資有価証券評価損	70,027	—
特別退職金	—	24,128
その他	140,954	4,028
特別損失合計	2,609,334	96,277
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△8,128	1,184,848
法人税等	879,420	73,562
少数株主利益	223,169	219,345
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,110,718	891,941

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,912,887	△373,128
減価償却費	8,588,170	9,451,354
減損損失	—	48,675
のれん償却額	215,222	215,222
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,403,846	△1,126,550
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,377,227	—
受取利息及び受取配当金	△118,313	△109,791
支払利息	510,926	457,425
持分法による投資損益(△は益)	△108,513	—
投資有価証券評価損益(△は益)	70,027	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△7,176	50,109
有形固定資産除却損	285,274	132,471
売上債権の増減額(△は増加)	△7,942,604	△6,883,012
たな卸資産の増減額(△は増加)	713,782	△186,020
仕入債務の増減額(△は減少)	8,144,465	5,497,529
その他	1,998,124	527,403
小計	16,235,655	7,701,688
利息及び配当金の受取額	122,919	100,833
利息の支払額	△507,724	△446,058
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,946,192	1,036,535
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,904,657	8,392,998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,660,858	△10,009,271
有形固定資産の売却による収入	79,244	390,701
貸付けによる支出	△1,716,590	—
貸付金の回収による収入	2,603,630	—
その他	△2,997	△856,073
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,697,571	△10,474,643
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	14,193,973	5,292,737
長期借入れによる収入	4,600,290	305,410
長期借入金の返済による支出	△4,218,190	△3,909,753
配当金の支払額	△720,413	△576,314
少数株主への配当金の支払額	△23,787	—
その他	△130,991	△132,802
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,700,881	979,278
現金及び現金同等物に係る換算差額	△659,560	153,762
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,248,406	△948,604
現金及び現金同等物の期首残高	3,734,739	4,835,390
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32,568	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,015,714	3,886,786

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「自動車及びその部品の製造及び販売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「自動車及びその部品の製造及び販売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	66,947,376	11,827,140	13,024,114	—	91,798,631	—	91,798,631
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,688,755	16,542	50,139	—	1,755,436	(1,755,436)	—
計	68,636,132	11,843,682	13,074,253	—	93,554,067	(1,755,436)	91,798,631
営業利益 又は営業損失(△)	637,809	334,352	1,542,300	△398	2,514,064	76,207	2,590,271

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	52,897,561	7,597,400	12,156,318	—	72,651,279	—	72,651,279
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,638,780	91,906	26,894	—	1,757,580	(1,757,580)	—
計	54,536,342	7,689,306	12,183,212	—	74,408,860	(1,757,580)	72,651,279
営業利益 又は営業損失(△)	△86,589	64,213	1,473,715	△1,849	1,449,490	(71,123)	1,378,366

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	173,998,888	35,998,975	33,961,959	—	243,959,823	—	243,959,823
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,772,555	143,129	357,757	—	5,273,443	(5,273,443)	—
計	178,771,443	36,142,105	34,319,716	—	249,233,266	(5,273,443)	243,959,823
営業利益 又は営業損失(△)	995,714	1,638,233	3,505,029	△3,184	6,135,792	(46,767)	6,089,024

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	143,068,307	20,414,628	31,566,708	—	195,049,644	—	195,049,644
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,567,074	310,816	91,897	—	3,969,788	(3,969,788)	—
計	146,635,381	20,725,445	31,658,606	—	199,019,433	(3,969,788)	195,049,644
営業利益 又は営業損失(△)	△2,575,050	△177,435	3,240,512	△2,423	485,603	(110,060)	375,542

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

前第3四半期連結会計期間及び前第3四半期連結累計期間

北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド

その他の地域：英国

当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間

北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド

その他の地域：英国、ブラジル

3 会計方針の変更

前第3四半期連結累計期間

当社及び国内連結子会社は、通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これにより、従来と同じ方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の「日本」の営業利益は106,232千円減少しております。

4 追加情報

前第3四半期連結累計期間

当社及び国内連結子会社は、機械装置について、平成20年度税制改正を契機に経済的使用可能予測期間を見直した結果、第1四半期連結会計期間より耐用年数の変更を行っております。これにより、従来と同じ方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の「日本」の営業利益は367,763千円減少しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	11,827,382	11,906,948	1,125,571	24,859,902
II 連結売上高(千円)	—	—	—	91,798,631
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.9	13.0	1.2	27.1

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	7,524,891	10,723,177	1,510,576	19,758,644
II 連結売上高(千円)	—	—	—	72,651,279
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.3	14.8	2.1	27.2

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	35,999,401	32,529,764	1,473,632	70,002,798
II 連結売上高(千円)	—	—	—	243,959,823
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.8	13.3	0.6	28.7

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	20,341,304	28,595,116	3,070,433	52,006,855
II 連結売上高(千円)	—	—	—	195,049,644
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.4	14.7	1.6	26.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

前第3四半期連結会計期間及び前第3四半期連結累計期間

北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド他

その他の地域：英国他

当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間

北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド他

その他の地域：英国、ブラジル他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。